



OITA-PHILIPPINES FRIENDSHIP ASSOCIATION

大分県フィリピン友好協会

大分県フィリピン友好協会は1995年に発生した阪神淡路大震災を機に日本国内で外国人の互助活動を推進する目的で作られました。弊社はOPFAの中で行われた外国人就労支援事業を受け継ぎ計28年の就労支援実績があります。また、貧困支援の実績や国際交流の発展に寄与したことから2022年に社会貢献支援財団より推薦を受け安部昭恵夫人より表彰を頂きました。

代表者
吉武ロドラ
書記
川上レア
会員数
700名

設立趣旨
県内・国内に在住するフィリピン人で困っている人を助けること
県内・国内に在住するフィリピン人でお互いを支えること
祖国の貧しい所に自立支援する
日本で外国人でも社会貢献できるよう努力する

大分国際交流プラザ



Facebookページ



活動内容

生活支援

フィリピンは地域により貧困差が激しく、生まれによって日々生活する事すら困難な地域・家庭もあります。特に都会を離れた田舎では顕著な為、定期的に食料・生活物資・職業訓練などを行っています。また、レイテ島台風震災を代表するような大きな台風被害が定期的に発生することもあり、被災者支援も行っています。



国際交流支援

大分県芸術文化スポーツ振興財団との協力の元、文化交流の機会を作っています。文化交流の一環であるチャリティイベントではその収益を前述の生活支援事業に充てています。



生活相談

前述の大分県芸術文化スポーツ振興財団の事業にて無料の外国語相談室を受託しています。こちらでは永住権を持つフィリピン人の他、特定技能等の中長期在留者など多くのフィリピン人の相談を受けています。



就労支援

大分ヒューマンケアスクールの協力の元、永住権を持つフィリピン人や日系人へ向けて介護訓練等を行っています。こちらでは介護福祉士試験や実務者研修等の資格を取得し、実際に就職までの道をサポートしています。



その他の活動

大分高等専門学校と協力し、学生と電気を必要としない足ふみミシンの寄贈・技術移転をしました。



こちらの活動から公益財団法人社会貢献支援財団への推薦を受け、現在までの活動を評価して頂いたことで安部昭恵夫人より表彰を受けました。



地方に住むフィリピン人の支援の為、フィリピン領事館と協力しパスポート更新の出張窓口設置などを行いました。その他、領事館の通訳依頼等を通しフィリピン行政との連携も行っています。



このほかアジア立命館大学の依頼のもと、大学教授の皆さんとフィリピン外務省事務次官、フィリピン医療関係者意見交換会を設置するなど若年層、指導層の交流も協力しています。



外部リンク

(左)自治体国際化協会紹介記事

https://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201109/2-1.pdf

(中)大分高専レポート

http://onct.oita-ct.ac.jp/other/project/sewing/pdf/20170824_H28hokokusyo.pdf

(右)社会貢献支援財団紹介ページ

https://www.fesco.or.jp/winner/2022_58/winner.php?wid=12661

